

「ふろわり200」の所得制限撤廃や妊婦健診の实质無料化を 日本共産党



今年区民の切実な願いが実つて「ふろわり200」（七十才以上・非課税・週一回二百円で入浴）が実現し喜ばれています。同時に「せめて所得制限は撤廃して」などの意見が区の窓口はじめ多く寄せられていました。

日本共産党は、質問で「ふろわり200」の所得制限撤廃と回数を増やすことを求めました。区は、答弁で「現在所得制限のあり方や利用回数について検討」していること

質問や区民要望にそつた検討を区が約束
くらしのセーフティネット拡充をさらに

を明らかにしました。

また今年度から妊婦健診が、一回目八千円、二回目から十四回まで各五千円を助成する拡充が実現。しかし妊婦健診は、自費診療で病院によってかかる費用が違いますし、検査の内容によつても違いがでてきます。区も実際の費用負担額は、十分調査できていないようです。費用が、助成額以上になり自己負担が生じる

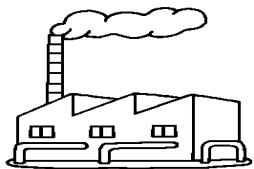
ことでもあります。今回の質問では、できるだけ負担が生じないような方法を検討するように求めました。区の答弁は、「国の動向を見守り」「引き続き検討」することとした。ぜひ拡充させたいものです。



区議会雑感…②

「補正予算」で何が足りないか 暮らし応援の決断が必要では

この議会に補正予算が提案されています。主には、21億円に上る決算剰余金（昨年度使い残し）を基金に積むものです。他に、学校給食の値上げ分を米の現物給付で補填、公園の撤去遊具の設置などです。問題は、剰余金の使い道。将来のために「貯める」ことが大事という意見もありました。もちろん必要なこともあるでしょうが、自治体の役割は、住民の暮らしと福祉を守ることが最大の責務です。例えば、原材料値上げに苦しむ区内業者、医療費や介護の負担に加えて物価値上げにあえぐ高齢者などなど区民実態の把握と対策こそ急ぐべきで、財政出動もあってしかるべきと思うのですが、みなさんはどうお考えでしょうか。



横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告
ニュース

322

2008年9月21日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-
catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

横山幸次区議のホームページを
ご覧下さい!
<http://www.yokoyama-kugi.com/>

裏面 区政情報など掲載

定例法律相談

10月6日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

【定例生活相談会】
毎週水曜日 午後2時から5時
会場は、横山区議事務所です。

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

まちの話題あれこれ

口の出町で七十五歳以上の医療費窓口負担全額補助へ「敬老の口」を迎えて高齢者への大きな贈り物…荒川区では？

敬老の日に考えたこと…今年に入り高齢者のみなさんには、「敬老」どころか「姥捨て山」制度ともいえる後期高齢者医療が押しつけられるなど苦難に次ぐ苦難が押し寄せています。来年は、七十才から七十四才以上のみなさんの医療費窓口負担が原則二割になるうとしていきます。あるテレビ番組でお笑い芸人が「敬老の日はおかしい、毎日が敬老の日だろう」と言いで得て妙だと感じました。ところで十七日の朝、インターネットでニュースを見てみると、西多摩郡・日の出町で七十五才以上の医療費を全額町で負担、人間ドックも無料という記事が目に入りました。人口一万六千人、対象が約千八百人で予算が八千五百万円余りのよ



荒川老人福祉センター

横山幸次

高齢者の住宅問題を考える

相談の中で高齢者の住宅問題は、引き続き深刻です。「足も悪くなり二階では住めない」「持家だが老朽化し改修もできず都営住宅に入りたい」「アパート入居の保証人がいない」「家賃が高い」などなど解決すべき課題は山積しています。荒川区は、高齢者の住み替え家賃助成制度を廃止しました。しかし、受け入れるべき公的住宅は圧倒的に不足です。

今回、さくらハイツ（区立高齢者住宅五カ所・定員単身用103戸、世帯用23戸）の募集がありますが、焼け石に水の状態です。やはり公営住宅の整備などと合わせて当面家賃助成制度などあらためてつくる必要があるのではないのでしょうか。

住いは人権です。貧困と格差の広がりは、「自己責任」では済まされない実態を政治に突きつけているのではないのでしょうか。



さくらハイツ町屋（7丁目）

さくらハイツ（区の高齢者住宅）募集があります。

1人用 10戸

対象（65才以上の方で一人暮らし、荒川区に5年以上居住の方）

2人世帯用 3戸

対象（申込者が65才以上で家族がおおむね60才以上、区内に5年以上居住）

- ・ 申込期間 9月24日（水）～29日（月）
土日を除く9時～5時
- ・ 場所 荒川区役所3階304会議室
（福祉部福祉推進課）

電話 3802-3111内線2616

登録した後、空室がでたら入居になります。登録期間は、11月6日～来年11月5日までです。

立ち退きを迫られている場合は優遇があります。

（お気軽にご相談ください。 横山幸次）

《おしらせコーナー》

単身用

前年所得額	月額使用料				
	さくらハイツ 南千住	さくらハイツ 町屋	さくらハイツ 小台	さくらハイツ 西尾久	町屋五丁目 住宅
0円～1,476,000円	15,400	15,400	13,900	13,900	19,800
1,476,001円～1,836,000円	18,700	18,700	16,800	16,800	24,000
1,836,001円～2,136,000円	22,200	22,100	19,900	19,900	28,400
2,136,001円～2,400,000円	25,600	25,500	23,000	22,900	32,800
2,400,001円～2,856,000円	29,600	29,500	26,600	26,400	37,800
2,856,001円～3,216,000円	34,000	33,900	30,500	30,400	43,400

二人世帯用

前年所得額	月額使用料				
	さくらハイツ 南千住	さくらハイツ 町屋	さくらハイツ 小台	さくらハイツ 西尾久	町屋五丁目 住宅
0円～1,836,000円	22,100	20,800	20,300	18,700	24,900
1,836,001円～2,216,000円	26,800	25,200	24,600	22,700	30,200
2,216,001円～2,516,000円	31,700	29,800	29,100	26,900	35,700
2,516,001円～2,780,000円	36,600	34,400	33,600	31,000	41,200
2,780,001円～3,236,000円	42,300	39,700	38,800	35,800	47,500
3,236,001円～3,596,000円	48,600	45,600	44,600	41,100	54,600

来年度重点予算要望…要望項目の解説

日本共産党区議団が区長に提出した44項目の養蚕要望について、内容や必要性、他自治体の様子などお知らせします。ご意見などぜひお寄せ下さい。

高齢者の負担軽減と介護サービスの充実を…すでに他の区で実施している事業も

介護保険料について年収120万円以下で貯蓄300万円以下については、保険料を免除する制度を実施すること。

【解説】

荒川区は、年収120万円以下預貯金60万円以下の第3段階の方の保険料を第1段階同額にするものです。しかし多くの方が何かの備えにわずかな蓄えをしています。港区や品川区などは、300万円以下の預貯金まで認めています。また、年収120万円以下は、最低生活費を割り込むラインであり、保険料免除にするか、同額（月額約2000円程度）の補助制度を作るべきです。予算は、約5000万円程度です。

重度要介護高齢者に月1万円の手当てを支給すること。

【解説】

要介護4、5など重度の方の介護は、費用面でも大変です。同時に、本来なら介護保険で特別養護老人ホームに入



れる方ですが、施設が足りません。そのために在宅での介護で、家族介護に大きく頼っています。せめて月1万円程度の介護手当の支給を実施すべきです。予算は、約2億3000万円程度です。

現在要介護4・5の方に、江戸川区が「熟年激励手当」月2万5千円、中央区が「おとしより介護応援手当」月2万円を支給しています。

新予防給付の時間延長、同居家族がいる世帯にも必要な場合生活援助サービスを実施、老老世帯についても同居者の食事や共用スペースの清掃などサービスの提供など区独自に実施すること。

【解説】

同居家族がいるため生活支援サービスが受けられないケースが全国で問題になっています。また新予防給付で様々な制約があります。必要な介護を受けられるために独自のサービス提供が必要です。

渋谷区では、介護予防介護サービスの時間延長 同居家族がいても独自に生活援助サービスを提供 通院付添や病院の待ち時間中の介護サービス 老老世帯の同居者への食事提供、共用スペース清掃などのサービスを実施しています。

…いずれも区の姿勢一つでできるものばかりです。

